

六甲カトリック教会 教会報



隠れキリシタンと世界文化遺産

2018年6月に、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産として登録されました。この世界遺産指定項目の内訳をみると、建築物は1箇所だけ（大浦天主堂＝写真）、遺跡が12箇所（周辺に散在する遺跡、集落群）となっています。外海の出津集落、大野集落、平戸市や佐世保市、さらに五島などの島嶼部の集落など。（むろん集落の中に建てられた教会の建物は含まれています）こうしてみると、指定の対象は形ある教会の建物などよりも、キリシタンと呼ばれ、信仰に生きた人々の生活歴史そのものに重点が置かれていることがわかります。



徳川家康の禁教令(1614年)から明治政府によるその解禁(1873年)まで260年もの間、迫害におびえながら信仰を守り抜いた人々。土地を追われ島に逃れ、そこでひそかに隠れ信者として住みついた人々、やせた土地を開墾し、芋を植え魚を捕り、おおっぴらにできない自分たちの信仰を、なんとか地域社会との折り合いをつけながら暮らした先祖、そしてその子孫、末裔…。今も息づいている集落が各所にあります。

「世界遺産を巡るツアー」などとキャンペーンされると、単なる観光になります。もっと大切なのは教会を心の拠りどころとして、日ごと夜ごとに生活を営み生業を果たし、そして信仰を守った人々の偉大さです。宣教師も神父もない、自分たちだけでオラショを唱え祈りを捧げ、逆境の中で守り抜いた信仰、これほど強い信仰はないと思います。

五島出身のキリシタンの末裔でもある長崎大司教区の古巣馨神父はNHKのインタビューにこたえて「世界遺産は私たちへの問いかけである」と答えています。この事実を未来に「どう伝えられるか」が課題であると…。古巣神父が述べられた「未来にどう伝えていくか」が世界遺産としての課題です。海辺の、あるいは丘の上の美しい教会群や景観を観光資源として珍重するのではなく、人々がどう生きたかをしっかりと受け止め、未来に伝え続けねばなりません。それが遺産・レガシーなのです。（編集部）

兵庫県は緊急事態宣言が解除され、目下まん延防止等重点措置の状態です。ミサが少しだけもとに戻っています。やっとワクチンが普及し始めたところですが、デルタ株などという変異種のウィルスの出現もまた不安材料です。相変わらず細かく地区分けされたミサですが、祈るところはひとつです。神に感謝。

7月の主日ミサ予定表

日	時	地区 (グループ)	
3日(土)	18時	地区を問わず	
4日(日)	7時半	地区を問わず	第1グループ
	10時	第1グループ	灘北1・北三田
	11時半	第2グループ	灘北2・阪神
10日(土)	18時	地区を問わず	灘南・神戸西
11日(日)	7時半	地区を問わず	
	10時	第2グループ	第2グループ
	11時半	第1グループ	灘西・中央
17日(土)	18時	地区を問わず	東灘北1
18日(日)	7時半	地区を問わず	東灘北2・芦屋
	10時	第1グループ	東灘南
	11時半	第2グループ	
24日(土)	18時	地区を問わず	
25日(日)	7時半	地区を問わず	
	10時	第2グループ	
	11時半	第1グループ	



ミサ拝領時の聖歌

緊急事態宣言あるいは、まん延防止等重点措置のもと、ミサで会衆が聖歌を斉唱できない状況が続いていますが、聖体拝領時には聖歌がモニターを通して流れるようになりました。典礼部音楽チームの有志メンバーが歌っているものです。また、葬儀ミサのときには列席者が制限されているので、出棺の際に歌われる讚美歌「神ともにいまして」もモニターで流しています。アルフレド神父のはからいで、コロナ下の苦渋の選択です。一日も早く全員で聖歌を歌える状況になるように祈りたいと思います。

第1回神戸マラソンに出場して以来、すっかりマラソンの魅力にとりつかれています。昨年はさすがにコロナウイルスの流行でほとんどレースがありませんでしたが、普段は年間8~9回フルマラソンを走っています。ただ、自己ベストを目指して個人でエントリーするのは2~3レースで、他のレースはメディカルランナーとしてボランティアで参加しています。



ここで少しメディカルランナーについて説明させていただきますと思います。神戸マラソンなどの市民マラソンで、「医師」とか「救護」と書かれた赤いビブスを着て走っているランナーを見かけたことはないでしょうか。あれがメディカルランナーです。一般ランナーに混じって主催者が指定したペースで走り体調を崩したランナーに対応します。マラソンコース上で関節痛や筋肉の痙攣、暑い日の脱水、寒い日の低体温症などの様々なトラブルを起こしたランナーに対応し応急処置や救護所への搬送を行います。

しかし、最も重要な任務は心肺停止を起こしたランナーへの対応です。マラソンは意外と過酷なスポーツで、市民マラソンではランナー3万人に1人の割合で心肺停止が発生すると言われています。マラソンコース上をランナーを監視しながら走り、心肺停止が発生したランナーに対し直ちに心臓マッサージを開始し、配置されているAED（自動体外式除細動器）を用いて心拍の再開を試み、救急車、そして病院での緊急治療に連携していきます。数年前の神戸マラソンでもゴールに近いポートアイランドのコース上でランナーの心肺停止が発生しましたが、メディカルランナーの応急処置後病院に搬送され無事社会復帰されています。私もメディカルランナーとしての任務に対応できるように日々の走力のトレーニングを行い、定期的に心肺蘇生術の講習を受け技術の維持向上に努めています。これからも趣味のマラソンと医師としての能力を活かしたボランティア活動を続けていければと思っております。



マグダラの聖マリアの日は7月22日となっています。ルカの8章冒頭に登場します。七つの悪霊をイエスに追い出してもらったマグダラのマリアがイエスの一行につき従って奉仕しているとの記述。そしてイエスの墓場に香油を携えて行き、イエスのよみがえったさまを発見、弟子たちに報告する場面(同24章冒頭)です。マグダラとはガリラヤ湖西岸の村の地名。七つの悪霊とはよほどの悪霊ですが、娼婦であったと言われるマリアがイエスによって回心し、最後までイエスを慕い行動したという生き方に共感するものがあります。よみがえったイエスは、嘆き悲しむマグダラのマリアに「女よなぜ泣くのか」とやさしく問いかけます。悲嘆にくれていたマリアは一転、イエスのよみがえりを心から喜び、弟子たちに堂々と伝えます。イエスを失ってオロオロする弟子たちに比べ、よっぽど毅然とした女性と言えます。絵はエル・グレコ描く「改悛するマグダラのマリア」です。(詫 洋一記)



図書室からのお知らせ



多数の図書を図書室に寄贈をいただきました。

☆ **潜伏キリシタン図譜** —— 潜伏キリシタン図譜プロジェクト実行委員会(委員長:高祖神父)

オラショの収録 CD 付き 長崎・五島に取材。

☆ **砂漠の師父の言葉** 古谷 功 あかし書房

著者は、この報告者の高・大学生時代(60年前)の所属教会(横浜教区鹿島田教会)でお世話になった時の主任司祭です。公会議後の新しい典礼へのかかわり方 また**イコン**への深い造詣… 印象深く、懐かしく思い出されます。遠慮しながらも紫の煙を愛する姿が今も眼に浮かびます。(2009年没)

☆ **キリスト教信仰のエッセンスを学ぶ** 小笠原優 E・PIX

司牧現場からのカテキズム。横浜の梅村司教推薦。信徒の宣教の使命を支える。

—— 以下図書名を列記します。

バテレンの世紀 渡辺京二 (新潮社)

聖山アトス 世界の聖域13 (講談社)

神との親しさ SMP・ガブリエル (聖母文庫)

(1)聖性の理想 (2)祈りと対神徳 (3)心の浄化 (4)愛の実践と聖霊 (6)三位一体の神 (7)キリスト・イエズス 計 6冊

雅歌について 聖ベルナルド (あかし書房)

(一) (二) (三) (四) 全 4冊

信仰と心の割礼 **ロマ書 1-4章**

K・ワルケンホースト (中央出版)

信仰と心のあがない **ロマ書 5-8章**

K・ワルケンホースト (中央出版)

万民とイスラエル **ロマ書 9-11章**

K・ワルケンホースト (中央出版)

ロマ書の戒め **ロマ書 12-16章**

K・ワルケンホースト (中央出版)

《お願い》 教会に図書を寄付・寄贈される方は、信者や教会図書室利用者に、その図書の推薦文や、教会図書室に相応しい旨のアピールを添えて事務所に申し出ください。またお気付きのこと、希望の図書等ご遠慮なくお知らせ下さい。

◆ 主よ、私たちに祈ることを教えてください ◆

静かな雨音を聞きながらパソコンに向かって
いる。もう幾度も、暑い夏を経験したが、今
年はけっこうキマジメな梅雨を迎えているよう
だ。桜の葉に落ちかかる音が耳にやさしい。と
ころで最近なぜか、祈りとは何だろう、どう祈
ればよいのかとよく問われる、自他ともに祈れ
ないという悩みを多くの人が抱えているからだ
ろう。私たちカトリック者は、決まった祈りを
数多く持っている（公教会祈祷書には、何と1
00ほどの祈りが並んでいた）けれども、別に
決まった祈りを使う義務があるわけではない。
また口禱の祈り以外にも、各自の自由な黙想や
念禱がいつも勧められてはいるが。しかしイエ
ス自身はどうだったのか、どのように祈られた
のか。マタイやルカが記す「主の祈り」を中心
にすえて、彼の姿や心を尋ねてみよう。驚く
ことにイエスは、何よりも祈りの人であった。
彼は好んで夜を徹して、懸命に、ひたすら、い
つも祈った。その延長線上に、主の祈りがある。
ルカは、祈るイエスに絶えず注目し、また自ら
祈りの教えや勧めを多く書き記している。また
主の祈りは弟子たちの求めに応じて、自ら手ほ
どきした点を強調している。

イエス自らが祈り、イエス自らが弟子たちに
教えたこの祈りこそ、まさに祈りの中の祈り、
あらゆる祈りの根源であり、またイエスの生涯
と福音と活動の総括・眼目である。また私たち
キリスト者の目印、行動の指針でもある。それ
ゆえにいつもまず、イエスその人に祈ることを
教えてくださいよう求めよう、いつもズブの素
人や初心者として。また祈りへの求めは必ず「私
」ではなく、「私たち」というつながり・交わり・
連帯の中でなされる命のイトナミである。わた
し個人の敬虔や信心ではない。換言すれば、自

分が天国に行くためや永遠の救いにパスするた
めに唱えるのではない。むしろイエスの心に共
に与り、神の救いの御業が私たち皆にあまねく
成就するように願い求めるのである。

ここで少し構造を考えてみよう。まず語りか
けの相手として、「天に居られる私たちの父」、
または「アッバ・父」である。アッバは、幼児
が父親に呼びかける時の言葉といわれるので、
むしろ「父ちゃん」などの親しい家族間の呼び
かけである。ルカの福音書ではイエスの祈りの
冒頭にいつも現れるが、旧約では神への呼びか
けとしては全く異例である。父である神に対す
る、イエスの独自で親密な間柄・心情があらわ
になる。その意味では、各祈りの願いの前に、
アッバ・父よという呼びかけを繰り返すことは、
イエスの心情や信頼の念に叶うのかもしれない。
主の祈りは二部構成になっている。前半部では、
ひたすらあなたの名が尊ばれ・あなたの国が来
たり・あなたのみ旨が成就するように願う。主
の権能・権勢が一切のトドコオリやサマタゲな
く為されますように。神のわざ（名、国、み旨）
に与り、その全き成就を祈り求めるところに、
子イエス（また子である私たち）の父である神
への信頼・賛美が込められている。その後半部
は、私たちの飢えや罪や弱さから解放放たれる
ようにとの切なる願い求めである。兄弟である
イエスは「私たち」の一員となり、私たちは心
を合わせて、日々のパンを罪の許しを解放を、
乞い求める。後にすぐ続く教えでルカは、ヘコ
タレヅに厚かましく叫び続けるように勧める。
またマタイは、互いに赦し合うことを特に求め
る。神が幾度でも際限なく赦してくださるよう
に、私たちが互いに赦し合うこと、ここに主の
祈りを唱える実り・眼目を置いている。合掌

【 2021 年 7 月予定表 】

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				福者ペトロ岐部司祭と187殉教者	初金曜日ミサ 7:00 10:00 聖体顕示 10:00ミサ後 ◎灘北2・阪神	聖トマ使徒
4	5	6	7	8	9	10
年間第14主日					◎灘南・神戸西	
11	12	13	14	15	16	17
年間第15主日 小教区評議会 13:00					◎灘西・中央	
18	19	20	21	22	23	24
年間第16主日				聖マリア(マグダラ) 教会受付休み (海の日)	◎東灘南	
25	26	27	28	29	30	31
年間第17主日				定期清掃		聖イグナチオ (ロヨラ)司祭

◎は掃除当番地区です

◆◆ 編集後記 ◆◆

五木寛之の短編小説に『蒼ざめた馬を見よ』というのがある。この「馬」は、言うまでもなく、ヨハネの黙示録 6-8 に出てくる死を象徴する馬のことである。この馬の色が、私の聖書（ドン・ボスコ社発行「聖書」第3版）では「浅黄色」になっている。英語版では、「a pale horse」なので、まさしく「蒼ざめた馬」である。浅黄色は誤訳なのだろうかと思うが、浅葱色を浅黄と表記することもあるらしいので、浅葱色のことなのだろう。そうだとすると、『浅葱色の馬を見よ』では、どうもぴんとこない。（遠藤 眞理）



<p>次回8月号の発行は、7月31日(土)です。</p> <p>原稿は毎月15日ごろまでに教会受付へ直接ご持参いただくか、FAX やメールでお願いいたします。皆様からの原稿をおまちしております。あわせてご意見もお寄せください。 (広報部)</p> <p>http://www.rokko-catholic.jp</p>	<p>六甲カトリック教会</p> <p>〒657-0061 神戸市灘区赤松町3-1-21</p> <p>電 話 078-851-2846</p> <p>F A X 078-851-9023</p> <p>E-メール renraku@rokko-catholic.jp</p> <p>発行責任者 アルフレド・セゴビア</p> <p>編 集 広 報 部</p>
--	---